

「品川区の人口の将来展望」に関するアンケート調査について

第 1. 目的・概要

1. 目的

・品川区の人口の将来展望を示す人口ビジョンと、それを基に今後 5 年間の目標・施策の基本的方向性を定める総合戦略の策定に向けた検討に向け、区民の結婚・出産・子育てに対する希望や区への定住意向などを把握するために、アンケート調査を実施した。

2. 方法

- ・無作為抽出による区民 2,000 人を対象に実施
- ・郵送配布・郵送回収
- ・回収数 828 票 (41.4%) (年齢区分) 18～29 歳 64 人、30 歳代 175 人、40 歳代 206 人
50 歳代 136 人、60 歳代 156 人、70 歳以上 82 人、無回答 9 人

3. 主な質問項目

- (1) 回答者の属性 (年齢、性別、居住地域、居住経験、出身地、居住年数、職業、同居人数等)
- (2) 品川区への転入理由 (転入のきっかけ、品川区を選択した理由、活用した媒体等)
- (3) 品川区への定住意向 (転出のきっかけとなる出来事、今後の定住意向およびその理由等)
- (4) 結婚・出産・子育て (結婚の状況、理想の子ども数およびその実現性や必要な取り組み等)

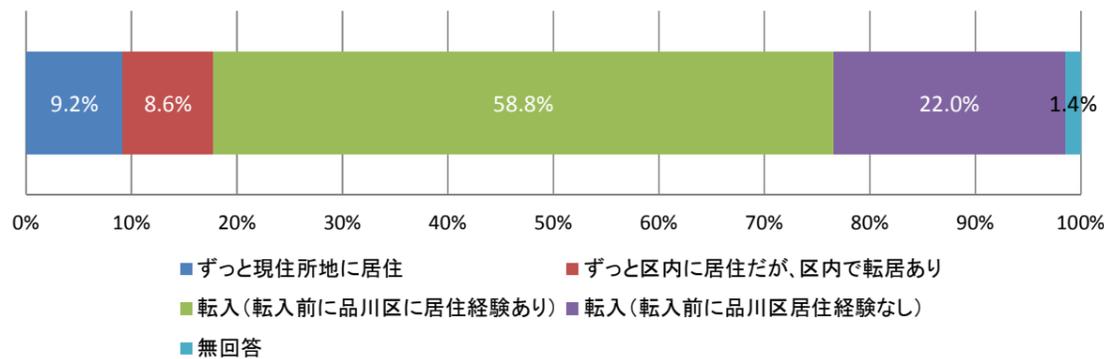
第 2. アンケート結果の主な内容

※SA とは単数回答の設問を、MA とは複数回答の設問を示す。n とは当該質問の回答者の総数を示す。

1. 居住経験

(1) 回答者の「居住経験」については「転入 (転入前に品川区に居住経験あり)」が 58.8% で最も多く、次いで「転入 (転入前に品川区居住経験なし)」が 22.0% となっている。

＜居住経験 (SA、n=828)＞



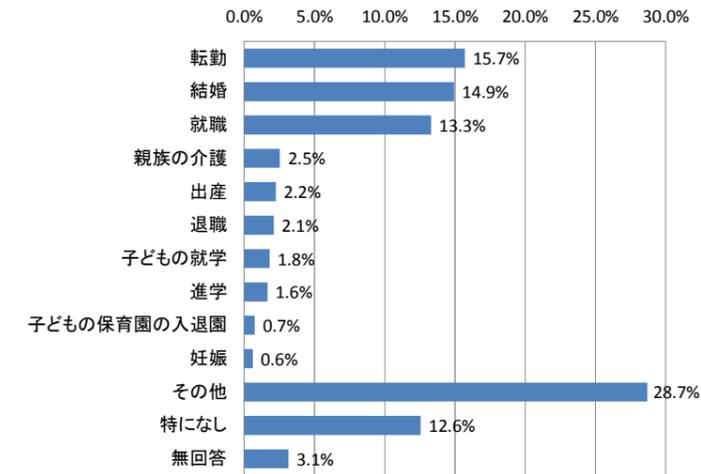
(2) 転入者に「直前の転入前の居住地」を聞いたところ、東京都 (区部) が 46.0% で最も多く、次いで「その他」が 22.4%、「神奈川県」が 16.7% となっている。区部の中では大田区が最も多く (全体の 13.0%)、ついで目黒区 (6.6%)、港区 (3.6%) である。

2. 品川区へ転入したきっかけ

(1) 他地域から品川区に転入した回答者に「転入のきっかけ」を聞いたところ、「転勤」が 15.7% で最も多く、次いで「結婚」が 14.9%、「就職」が 13.3% となっている。

「その他」の占める割合が 28.7% と多く、「その他」の内容としては、「住宅の購入を契機とした引っ越し」(43 人、その他の 22.2%)、「通勤に便利・住みやすそう等品川区の魅力に惹かれて」(37 人、同 19.1%)「社宅・都営住宅が立地していた」(13 人、同 6.7%) といった回答が多かった。

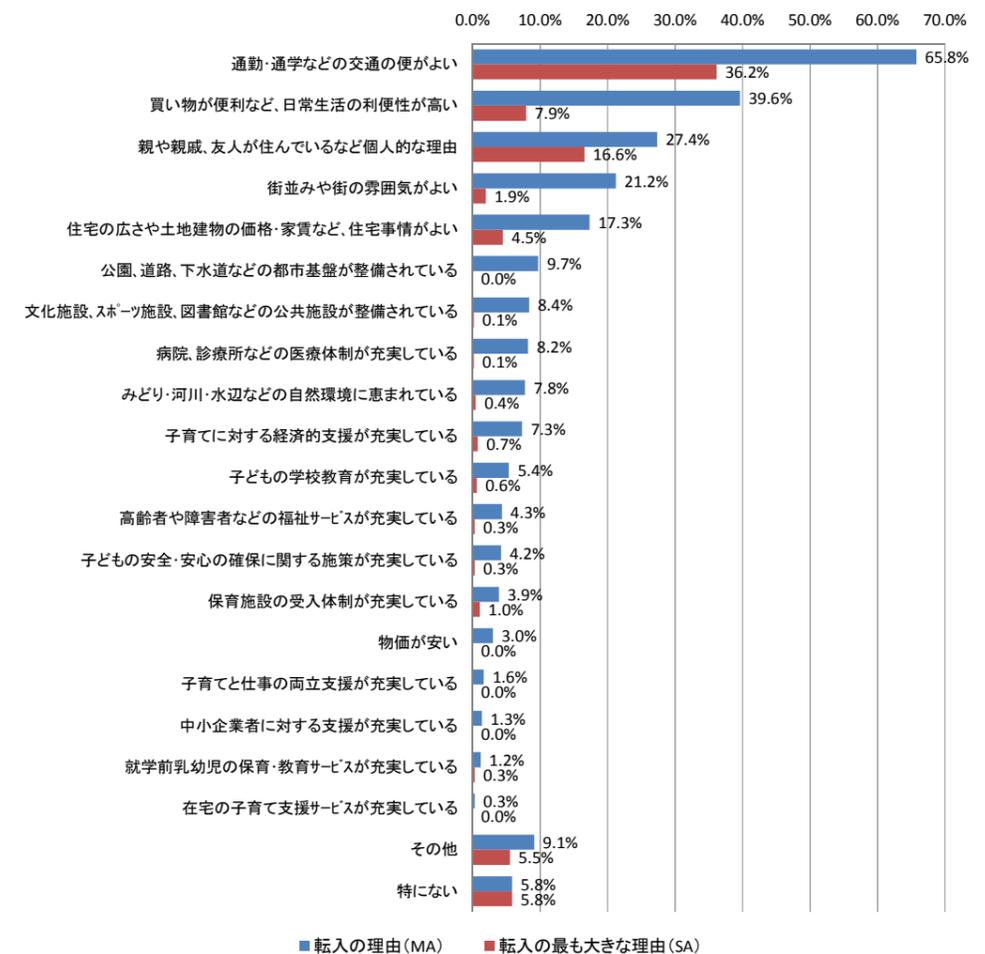
＜転入のきっかけ (SA、n=699)＞



(2) 転入先として「品川区を選択した理由」については「通勤・通学などの交通の便がよい」が 65.8% で最も多く、次いで「買い物が便利など、日常生活の利便性が高い」が 39.6% となっている。

区の施策に直接関連のある項目では「公園、道路、下水道などの都市基盤が整備されている」が 9.7% で最も多く、次いで「文化施設、スポーツ施設、図書館などの公共施設が整備されている」が 8.4% となっている。

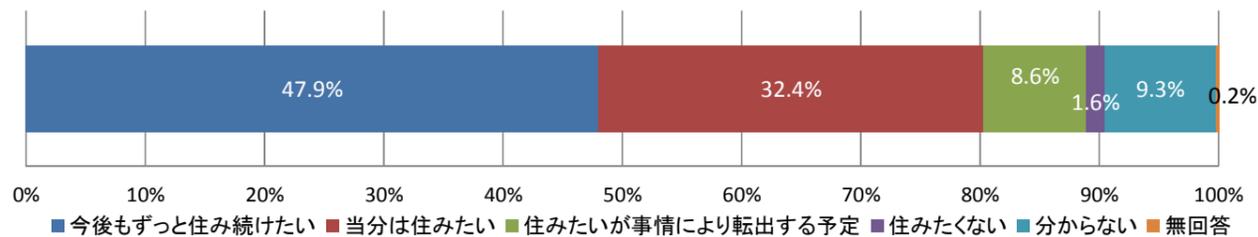
＜品川区の選択理由 (MA3、n=669)、選択した最も大きな理由 (SA、n=669)＞



3. 品川区への定住意向

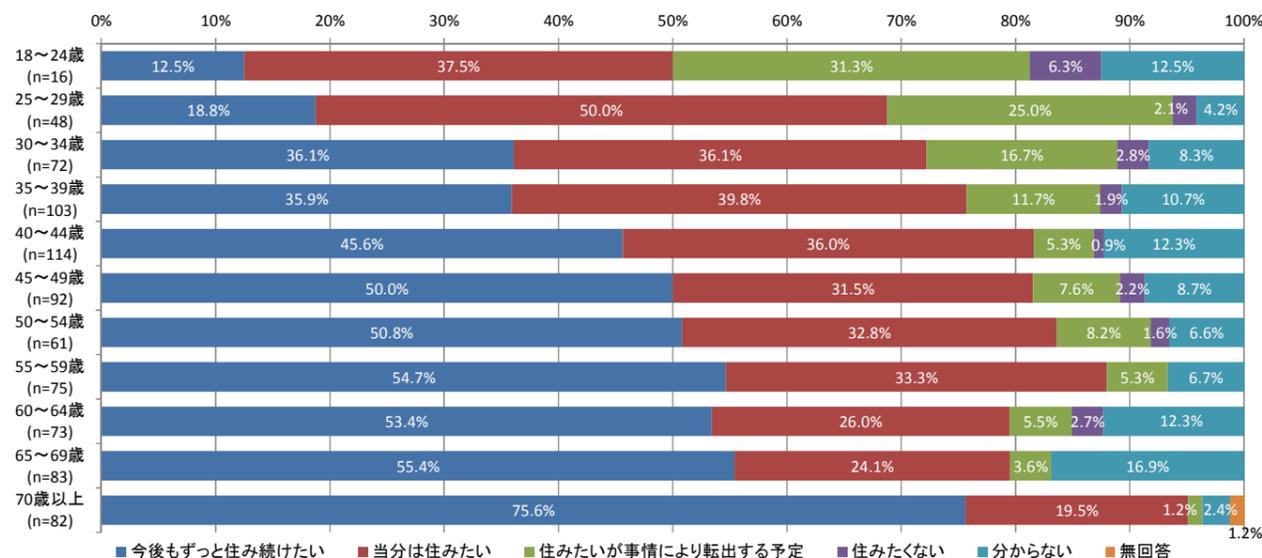
(1) 品川区への定住意向については、「今後もずっと住みたい」が47.9%で最も多く、次いで「当分は住みたい」が32.4%となっており、区への定住を希望する人（今後もずっと住みたい+当分は住みたい+住みたいが事情により転出する予定）の合計は88.9%となっている。

＜品川区への定住意向（SA、n=828）＞



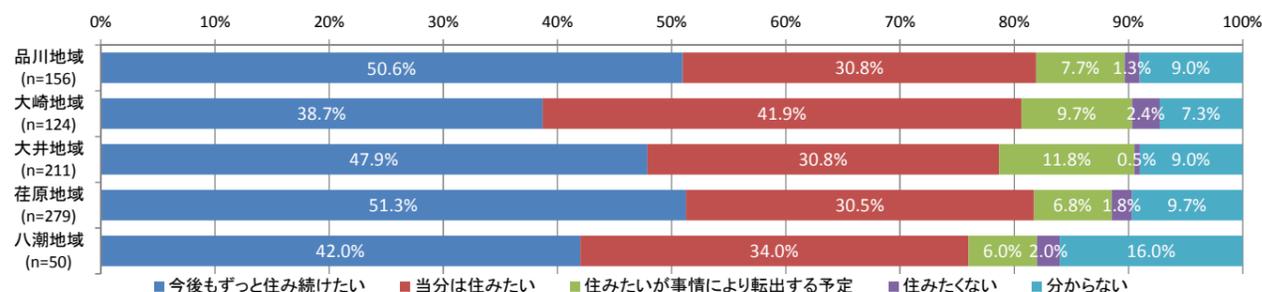
(2) 年齢別に定住意向を見ると、年齢層の上昇とともに「今後もずっと住みたい」の比率が上昇している。また、18～29歳は、他の年代に比べ「住みたいが事情により転出する予定」の割合が高い。

＜年齢層別の定住意向＞



(3) 地域別に見ると、荏原地域、品川地域において、「今後もずっと住みたい」の占める割合が50%を超えている。

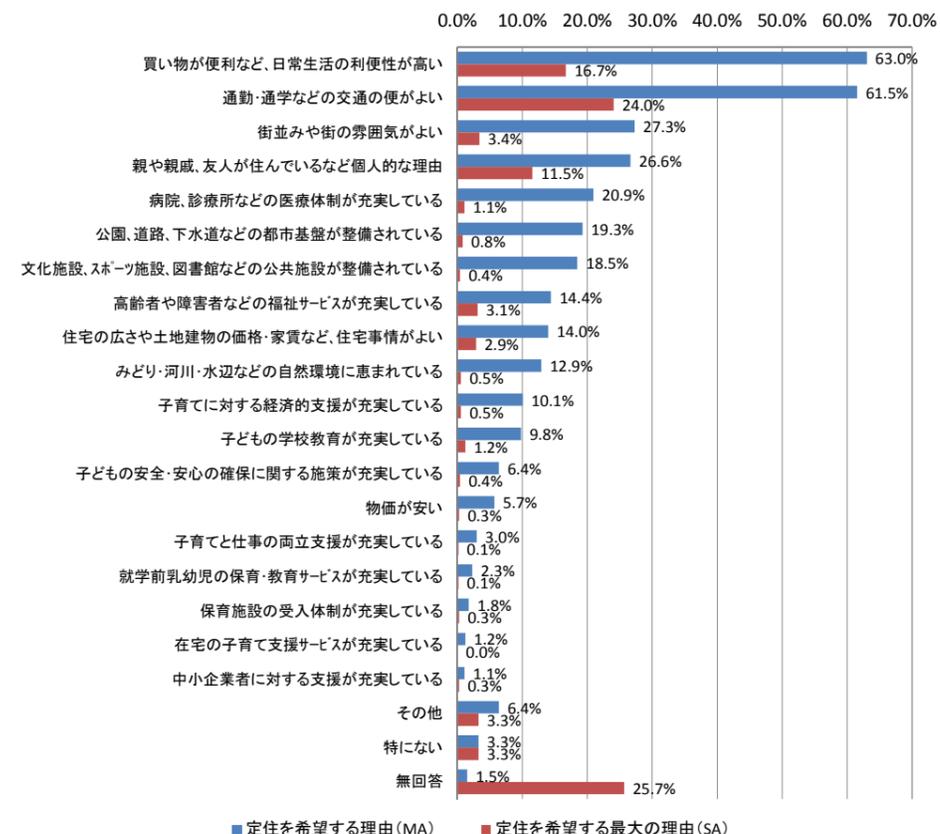
＜地域別の定住意向＞



(4) 「今後もずっと住みたい」「当分は住みたい」「住みたいが事情により転出する予定」の回答者に「定住を希望する理由」を聞いたところ、「買い物が便利など、日常生活の利便性が高い」が63.0%で最も多く、次いで「通勤・通学などの交通の便がよい」が61.5%となっている。

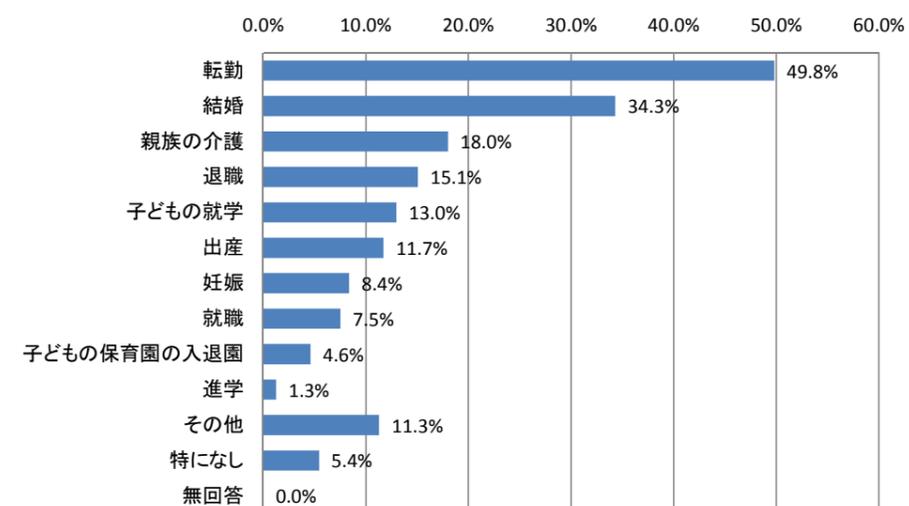
区の施策に直接関連のある項目では「公園、道路、下水道などの都市基盤が整備されている」が19.3%で最も多く、次いで「文化施設、スポーツ施設、図書館などの公共施設が整備されている」が18.5%となっている。

＜定住を希望する理由（MA、n=736）、定住を希望する最大の理由（SA、n=736）＞



(5) 18～39歳の回答者に「今後の転出のきっかけとなりうる出来事」を聞いたところ、「転職」が49.8%で最も多く、次いで「結婚」が34.3%、「親族の介護」が18.0%となっている。

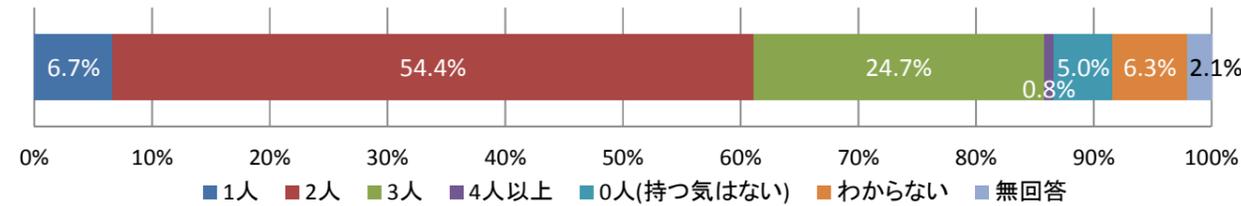
＜【18～39歳】今後の転出のきっかけ（MA、n=239）＞



4. 理想の子どもの数の実現（18～39歳の回答を抽出）

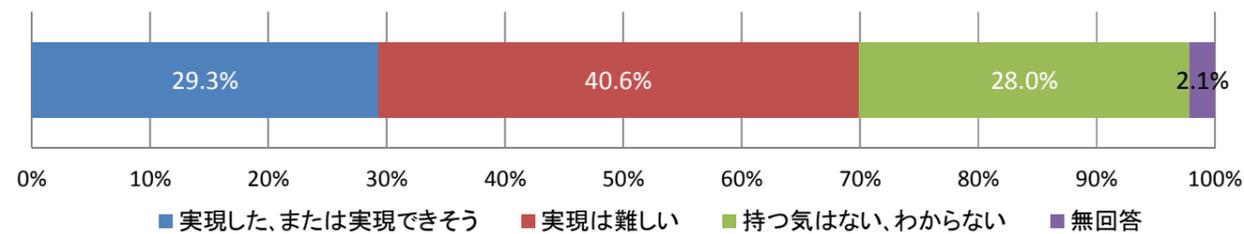
(1) 18～39歳の回答者の「理想の子どもの数」について見ると、「2人」が54.4%で最も多く、次いで「3人」が24.7%、「1人」が6.7%となっている。

<【18～39歳】理想の子どもの数（SA、n=239）>



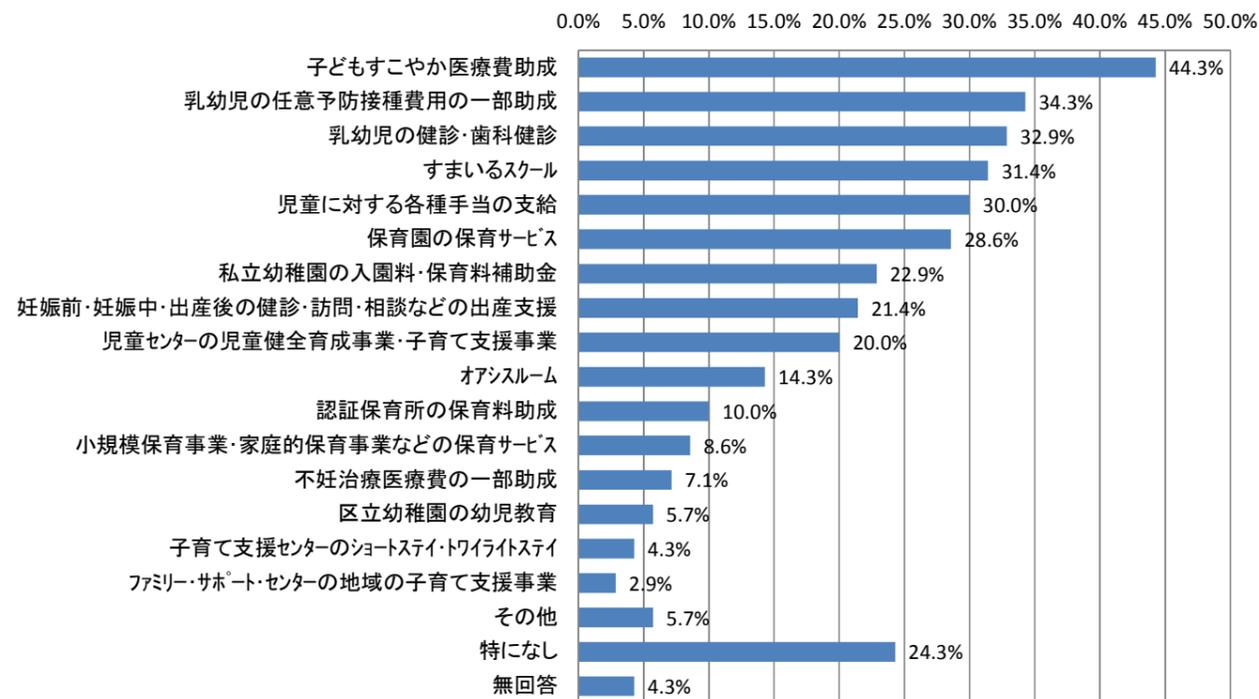
(2) 18～39歳の回答者の「理想の子どもの数の実現」について見ると、「実現は難しい」が40.6%で最も多く、次いで「実現した、または実現できそう」が29.3%となっている。

<【18～39歳】理想の子どもの数の実現（SA、n=239）>



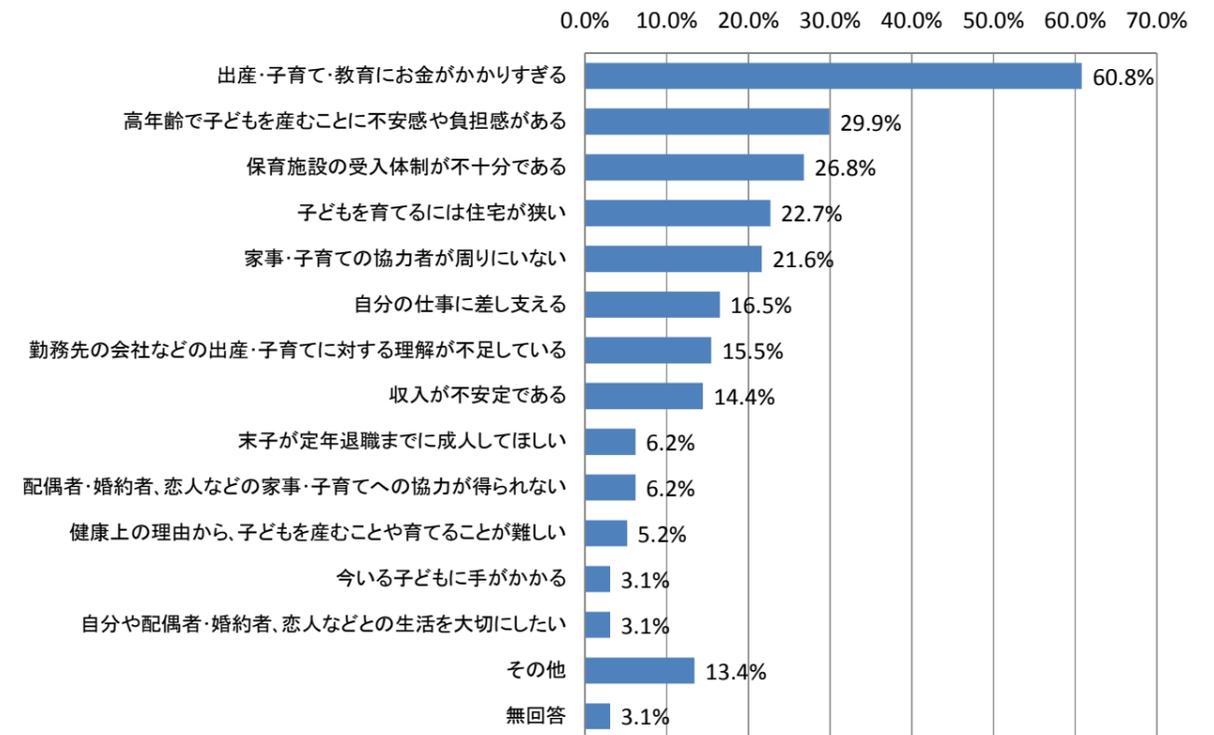
(3) 「実現した、または実現できそう」の回答者に「理想の子どもの数の実現に役立った品川区の施策」を聞いたところ、「子どもすこやか医療費助成」が44.3%で最も多く、次いで「乳幼児の任意予防接種費用の一部助成」が34.3%、「乳幼児の健診・歯科健診」が32.9%となっている。

<【18～39歳】理想の子どもの数の実現に役立った品川区の施策（MA、n=70）>



(4) 「実現は難しい」の回答者に「理想の子どもの数の実現が難しい理由」を聞いたところ、「出産・子育て・教育にお金がかかりすぎる」が60.8%で最も多く、次いで「高年齢で子どもを産むことに不安感や負担感がある」が29.9%、「保育施設の受入体制が不十分である」が26.8%となっている。

<【18～39歳】理想の子どもの数を実現するのが難しい理由（MA、n=97）>



(5) 「実現は難しい」の回答者に「理想の子どもの数を実現するために今後品川区が取り組むべき点、良くなってほしい点」を聞いたところ、「保育施設など子育て支援の施設が充実する」が55.7%で最も多く、次いで「出産・子育てに対する経済的支援が充実する」が49.5%となっている。

<【18～39歳】理想の子どもの数を実現するために今後品川区が取り組むべき点、良くなってほしい点（MA、n=97）>

